

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 東レ株式会社

上場取引所 東大名札福

コード番号 3402 URL <http://www.toray.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榊原 定征

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 前田 一郎

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

TEL 03-3245-5175

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	278,663	△28.1	△2,386	—	△7,593	—	△7,440	—
21年3月期第1四半期	387,407	—	13,216	—	12,457	—	4,393	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△5.32	—
21年3月期第1四半期	3.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	1,531,540	523,218	31.2	341.49
21年3月期	1,523,603	512,610	30.8	335.04

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 477,884百万円 21年3月期 468,861百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	2.50	7.50
22年3月期	—				
22年3月期 (予想)		2.50	—	2.50	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	590,000	△26.3	△5,000	—	△12,000	—	△12,000	—	△8.57
通期	1,300,000	△11.7	15,000	△58.3	5,000	△75.6	△5,000	—	△3.57

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

通期の業績予想につきましては、外部環境の動向等を踏まえ、第2四半期決算発表時に見直しを行う予定です。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 1,401,481,403株 21年3月期 1,401,481,403株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 2,064,113株 21年3月期 2,057,340株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 1,399,420,036株 21年3月期第1四半期 1,399,693,774株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】**1. 連結経営成績に関する定性的情報**

世界経済は昨秋以来深刻な不況に陥っており、国内経済も平成20年10～12月期及び平成21年1～3月期の成長率が先進国で最悪のマイナス成長を記録しました。4～6月期には各国政府による景気刺激策や在庫調整の進展などにより景気に下げ止まりの動きが出てきましたが、経済活動は総じて極めて低い水準で推移しました。

こうした事業環境の激変を踏まえ、当社グループは、当面2年間は経済危機の克服に集中するべく、新たな中期経営課題“プロジェクトI T-Ⅱ (Innovation TORAY Ⅱ)”を策定し、この4月から取り組みをスタートさせました。“プロジェクトI T-Ⅱ”では、トータルコストの抜本的削減や「売り抜き」による収益極大化、設備投資の圧縮や運転資本の削減などによるキャッシュ・フローの改善に取り組んでいます。

しかしながら当第1四半期については、昨秋以来の世界的な需要の落ち込みの影響が非常に大きく、連結売上高は前年同期比28.1%減の2,787億円となりました。また、需要の減少に対応した在庫水準適正化のための減産を継続したこともあり、営業損益は同156億円減の24億円の損失、経常損益は持分法投資損益の悪化もあり同201億円減の76億円の損失、四半期純損益は法人税等の減少により同118億円減の74億円の損失となりました。

事業分野ごとの状況は以下のとおりです。

【繊維事業】

繊維事業は、国内では、衣料用途は一部縫製品を除き衣料品需要の不振を背景に引き続き荷動きが鈍く、産業用途も自動車用途をはじめとして需要が大幅に減少した状況が続きました。海外でも、韓国のポリエステル長繊維事業や中国の不織布事業など一部を除き、総じて販売量が落ち込みました。繊維事業全体では、売上高は前年同期比22.7%減の1,121億円、営業損益は同42億円減の11億円の損失となりました。

【プラスチック・ケミカル事業】

プラスチック・ケミカル事業では、自動車用途や電機・電子用途での需要不振が継続し、樹脂、フィルムとも総じて出荷は低調に推移しました。プラスチック・ケミカル事業全体で、売上高は前年同期比33.7%減の708億円、営業損益は同44億円減の9億円の損失となりました。

【情報通信材料・機器事業】

情報通信材料・機器事業では、中国等の消費刺激策等の影響もありフラットパネルディスプレイ向け材料などで需要回復の傾向が現れ始めましたが、前年同期比では総じて低調に推移しました。情報通信材料・機器事業全体で、売上高は前年同期比19.4%減の502億円、営業利益は同58.9%減の15億円となりました。

【炭素繊維複合材料事業】

炭素繊維複合材料事業では、中長期的には需要の本格的拡大が見込まれ、自動車用途や環境・エネルギー用途などの重点領域を中心に新規用途の開発に積極的に取り組んでいます。しかしながら短期的には、世界的な景気悪化の影響を受けて、航空宇宙、スポーツ、一般産業の各用途で需要が低迷しており、当社グループも既存設備の生産調整や新規設備の稼働開始延期を実施しました。炭素繊維複合材料事業全体で、売上高は前年同期比 49.5%減の 99 億円、営業損益は同 41 億円減の 8 億円の損失となりました。

【環境・エンジニアリング事業】

環境・エンジニアリング事業では、水処理膜事業は逆浸透膜等の荷動きが堅調に推移しましたが、国内子会社の建設事業の業況は低調に推移し、また、商事子会社の機械輸出取り扱い高が大幅に減少したことなどから、環境・エンジニアリング事業全体では、売上高は前年同期比 42.6%減の 222 億円、営業損益は同 7 億円減の 15 億円の損失となりました。

【ライフサイエンスその他】

医薬・医療事業では、医薬事業が堅調に推移し、人工腎臓も販売量を伸ばしました。ライフサイエンスその他の全体では、国内商事子会社の取り扱い高や分析サービス子会社の受注高が減少したことなどから、売上高は前年同期比 10.0%減の 135 億円、営業損益は同 4 億円減の 3 億円の損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、資産の部は、流動資産が受取手形及び売掛金の減少を主因に前連結会計年度末比 95 億円減少しましたが、固定資産が投資有価証券の増加を主因に同 174 億円増加したことから、資産合計で同 79 億円増加の 1 兆 5,315 億円となりました。

負債の部は、有利子負債が増加したものの支払手形及び買掛金や引当金などが減少したことなどから、負債合計で前連結会計年度末比 27 億円減少の 1 兆 83 億円となりました。

純資産の部は、四半期純損失の計上や配当金の支払いにより利益剰余金は減少したものの、その他有価証券評価差額金の増加や為替換算調整勘定の変動により純資産合計では前連結会計年度末比 106 億円増加の 5,232 億円となり、このうち自己資本は 4,779 億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の内外の経済は緩やかに持ち直すことが予想されますが、回復の足取りは脆弱かつ緩慢であり、先行きの見通しは極めて不透明な状況です。

このような厳しい環境の下、当社グループは引き続き“プロジェクト I T-Ⅱ”に基づいてトータルコスト競争力強化や事業体制の革新、成長戦略の推進に取り組み、収益基盤の強化に努めてまいります。

当連結会計年度の業績予想につきましては、IT関連分野等を除いて引き続き厳しい事業環境が続く中で、“プロジェクトI T-Ⅱ”の下でトータルコスト競争力強化をはじめとする収益改善の取り組みを推進していることを踏まえ、第2四半期連結累計期間については連結売上高 5,900 億円、営業損益は 50 億円の損失、経常損益は 120 億円の損失、純損益は 120 億円の損失と、5月11日の平成21年3月期決算発表時に公表した業績見通しを上方修正しました。通期については、先行きの経済情勢が極めて不透明な状況であるため、第2四半期決算発表時に外部環境の動向等を踏まえて見直しを行う予定です。なお、7月以降の為替は95円/ドルを想定しています。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,037	62,290
受取手形及び売掛金	211,994	220,129
商品及び製品	172,541	175,572
仕掛品	91,041	86,524
原材料及び貯蔵品	58,908	57,866
その他	52,130	55,871
貸倒引当金	△2,224	△2,368
流動資産合計	646,427	655,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	189,921	186,109
機械装置及び運搬具(純額)	262,272	259,741
土地	70,564	69,863
建設仮勘定	56,587	62,312
その他(純額)	18,092	18,236
有形固定資産合計	597,436	596,261
無形固定資産	10,670	10,519
投資その他の資産		
投資有価証券	172,541	156,188
その他	107,316	107,646
貸倒引当金	△2,850	△2,895
投資その他の資産合計	277,007	260,939
固定資産合計	885,113	867,719
資産合計	1,531,540	1,523,603

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	134,898	150,159
短期借入金	129,422	128,194
1年内返済予定の長期借入金	13,642	13,303
コマーシャル・ペーパー	48,000	20,000
1年内償還予定の社債	30,000	40,000
未払法人税等	2,801	6,539
引当金	8,910	15,212
その他	87,214	87,350
流動負債合計	454,887	460,757
固定負債		
社債	150,000	150,000
長期借入金	310,279	306,120
退職給付引当金	66,865	66,882
その他の引当金	5,396	6,135
その他	20,895	21,099
固定負債合計	553,435	550,236
負債合計	1,008,322	1,010,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,937	96,937
資本剰余金	85,802	85,802
利益剰余金	342,328	353,222
自己株式	△1,126	△1,123
株主資本合計	523,941	534,838
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,835	9,649
繰延ヘッジ損益	△475	△423
為替換算調整勘定	△67,417	△75,203
評価・換算差額等合計	△46,057	△65,977
少数株主持分	45,334	43,749
純資産合計	523,218	512,610
負債純資産合計	1,531,540	1,523,603

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	387,407	278,663
売上原価	314,945	231,265
売上総利益	72,462	47,398
販売費及び一般管理費	59,246	49,784
営業利益又は営業損失(△)	13,216	△2,386
営業外収益		
受取利息	345	143
受取配当金	1,170	878
持分法による投資利益	1,652	—
雑収入	1,442	1,076
営業外収益合計	4,609	2,097
営業外費用		
支払利息	2,646	2,472
持分法による投資損失	—	696
雑損失	2,722	4,136
営業外費用合計	5,368	7,304
経常利益又は経常損失(△)	12,457	△7,593
特別利益		
有形固定資産売却益	441	66
投資有価証券売却益	1,652	—
その他	11	—
特別利益合計	2,104	66
特別損失		
有形固定資産処分損	931	553
投資有価証券評価損	27	2,010
関係会社事業損失	2,766	11
たな卸資産評価損	1,194	—
その他	358	116
特別損失合計	5,276	2,690
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	9,285	△10,217
法人税等	4,153	△2,788
少数株主利益	739	11
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,393	△7,440

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	9,285	△10,217
減価償却費	20,468	18,162
のれん償却額	△89	△25
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△113	△103
受取利息及び受取配当金	△1,515	△1,021
支払利息	2,646	2,472
持分法による投資損益(△は益)	△1,652	696
有形固定資産処分損益(△は益)	490	487
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△1,396	2,010
売上債権の増減額(△は増加)	22,720	10,677
たな卸資産の増減額(△は増加)	△23,039	1,949
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,449	△16,357
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△3,261	2,307
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,279	1,744
前払年金費用の増減額(△は増加)	△1,532	△482
その他	△6,937	△5,672
小計	7,347	6,627
利息及び配当金の受取額	2,521	1,494
利息の支払額	△2,826	△2,957
訴訟和解金の支払額	△2,631	—
法人税等の支払額	△9,219	△5,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,808	△70
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△26,444	△13,318
有形固定資産の売却による収入	1,034	189
無形固定資産の取得による支出	△477	△451
投資有価証券の取得による支出	△3,800	△24
投資有価証券の売却による収入	2,318	5
その他	△937	△1,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,306	△14,743
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	17,865	△3,649
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	15,000	28,000
長期借入れによる収入	14,434	5,500
長期借入金の返済による支出	△6,586	△3,090
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△5,358	△2,603
少数株主への配当金の支払額	△130	△212
その他	△564	△205
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,661	13,741
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,915	841
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,368	△231
現金及び現金同等物の期首残高	56,507	62,158
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	23	40
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,162	61,967

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

(単位：百万円)

	織	繊維	プラスチック・ケミカル	情報通信材料・機器	炭素繊維複合材料	環境・エンジニアリング	ライフサイエンスその他	計	消去又は全	は社連	結
売上高											
外部顧客に対する売上高	144,958	106,798	62,315	19,673	38,649	15,014	387,407	-			387,407
セグメント間の内部売上高又は振替高	192	7,726	1,669	100	8,154	4,893	22,734	(22,734)			-
計	145,150	114,524	63,984	19,773	46,803	19,907	410,141	(22,734)			387,407
営業利益又は営業損失(△)	3,125	3,541	3,571	3,320	△731	126	12,952	264			13,216

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

(単位：百万円)

	織	繊維	プラスチック・ケミカル	情報通信材料・機器	炭素繊維複合材料	環境・エンジニアリング	ライフサイエンスその他	計	消去又は全	は社連	結
売上高											
外部顧客に対する売上高	112,078	70,760	50,202	9,930	22,181	13,512	278,663	-			278,663
セグメント間の内部売上高又は振替高	151	3,656	1,372	111	7,717	3,941	16,948	(16,948)			-
計	112,229	74,416	51,574	10,041	29,898	17,453	295,611	(16,948)			278,663
営業利益又は営業損失(△)	△1,054	△898	1,468	△784	△1,464	△286	△3,018	632			△2,386

各事業区分に属する主要な製品

事業区分は、製品の種類・性質、使用目的及び市場の類似性を考慮して行っております。

各事業区分に属する主要な製品は下記のとおりであります。

事業区分	主要製品
繊維事業	ナイロン・ポリエステル・アクリル等の糸・綿・紡績糸及び織編物、不織布、人工皮革、アパレル製品
プラスチック・ケミカル事業	ナイロン・ABS・PBT・PPS等の樹脂及び樹脂成形品、ポリオレフィンフォーム、ポリエステル・ポリプロピレン・PPS等のフィルム及びフィルム加工品、合成繊維・プラスチック原料、石膏、ゼオライト触媒、医・農薬原料等のファインケミカル、動物薬 (但し、下記「情報通信材料・機器事業」に含まれるフィルム・樹脂製品を除く。)
情報通信材料・機器事業	情報通信関連フィルム・樹脂製品、電子回路・半導体関連材料、液晶用カラーフィルター及び同関連材料、プラズマディスプレイパネル用材料、磁気記録材料、印写材料、情報通信関連機器
炭素繊維複合材料事業	炭素繊維・同複合材料及び同成形品
環境・エンジニアリング事業	総合エンジニアリング、マンション、産業機械類、環境関連機器、水処理用機能膜及び同機器、住宅・建築・土木材料
ライフサイエンスその他	医薬品、医療製品、分析・調査・研究等のサービス関連事業

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

（単位：百万円）

	日 本	ア ジ ア	欧 米 他	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高						
外部顧客に対する売上高	265,139	79,907	42,361	387,407	-	387,407
セグメント間の 内部売上高又は振替高	31,833	14,844	2,957	49,634	(49,634)	-
計	296,972	94,751	45,318	437,041	(49,634)	387,407
営 業 利 益	8,573	1,432	2,554	12,559	657	13,216

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

（単位：百万円）

	日 本	ア ジ ア	欧 米 他	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高						
外部顧客に対する売上高	201,399	54,242	23,022	278,663	-	278,663
セグメント間の 内部売上高又は振替高	16,388	10,402	456	27,246	(27,246)	-
計	217,787	64,644	23,478	305,909	(27,246)	278,663
営業利益又は営業損失(△)	△ 4,077	1,132	△ 334	△ 3,279	893	△ 2,386

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

（単位：百万円）

	ア ジ ア	欧 米 他	計
I. 海 外 売 上 高	115,001	70,068	185,069
II. 連 結 売 上 高			387,407
III. 連 結 売 上 高 に 占 め る 海 外 売 上 高 の 割 合	29.7%	18.1%	47.8%

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

（単位：百万円）

	ア ジ ア	欧 米 他	計
I. 海 外 売 上 高	82,435	35,775	118,210
II. 連 結 売 上 高			278,663
III. 連 結 売 上 高 に 占 め る 海 外 売 上 高 の 割 合	29.6%	12.8%	42.4%

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。